

# P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

<b>事業概要</b>				担当局	消防局			
				担当課	救急課			
<b>事業名</b> 応急手当の普及啓発活動の推進				課長名	谷延 正夫			
				施策番号 II - 1 - (2) - ①				
<b>事業概要</b> 突然の病気や怪我等により傷病者が発生した場合に、そばにいる市民が適切な応急手当を行うことで、救命効果は向上します。また、AEDの使用が一般的に認められたことで、さらに市民の応急手当による救命効果の向上が期待されています。そこで、AEDの取扱いも含め、市民に対する応急手当の普及啓発活動を推進します。				<b>事業手法</b> <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
コスト	事業費	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.13 人	(人件費備考)
		1,991 千円	1,658 千円			20,370 千円	係長 0.50 人 職員 1.85 人	

## 【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	目標値を上回る受講者数となっているため、今後とも受講しやすしい講習会を開催していきたいと考えています。 応急手当講習を個人でも受講しやすくするため、公募の講習回数を増やすと共に、いつでもどこでも都合の良い時に応急手当の学習ができるようWEB講習を導入しました。
----	-------------------	-------	---

## 【Plan】計画

## 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	大変順調
	全市民	突然の病気や怪我等により傷病者が発生した場合でも、そばにいる市民が適切な応急手当を行うことができるまちを目指します。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由	
	応急手当講習の受講者数	34,741 人	30,000 人	41,776 人	目標値を上回る受講者数となっているため。	
	傷病者のそばにいる市民が適切な応急手当を行うことで救命効果は向上します。多くの市民にその知識・技術を学んでいただくことを目的としています。 (最終目標と目標年度)	45,481 人		139.3 %		
(最終目標と目標年度)			%			

活動計画	どうやって目的を達成するか	市民からの受講依頼に対し、講習を実施するとともに、市政だよりや市のホームページで啓発を行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	大変順調
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	講習の実施及び広報	講習の実施及び広報の維持	講習の実施及び広報の維持	実施	例年どおり講習の実施及び広報ができているため。
	市民からの受講依頼に対し、講習を実施するとともに、市政だよりや市のホームページで啓発を行います。	講習の実施及び広報の維持		%	
			%		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	個人で受講する講習では、毎回定員に達する応募があっており、各消防署で実施する団体での講習を含め、目標値を上回る受講者数となっているため、大変順調と判断しました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	誤った知識・技術を指導してはならず、救急隊員をはじめとした消防職員での指導を行うためコストの削減は困難です。しかし、消防団員及び救命ボランティアの会の皆様並びに応急手当普及員の積極的な協力(平日・土日祝日を問わず、講習のアシスタントを担ってくれる)により人件費の削減に寄与しています。

PDCAチェックシート(平成25年度実績評価)

担当局	消防局
担当課	警防課
課長名	中村 篤志

事業概要

事業名	自主防災活動の推進				施策番号	
					Ⅱ - 1 - (4) - ③	
事業概要	地域防災力の向上を目的に自主防災組織「市民防災会」の育成指導を行います。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)		目安の金額
	6,596 千円	6,596 千円		5,800 千円	(人件費備考)	

【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題	市民防災会の結成率及び訓練等の活動並びに参加人数等、定着しているものの、年齢構成にばらつきがないことや参加者が常に同一人物になるなどの課題があります。	見直し内容	毎年、必要経費の見直しを図っており、経済的・効率的に事業を推進しています。
----	-------------------	---	-------	---------------------------------------

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	順調
	市民防災会	各区で実施している防災訓練、防災講演会等の市民防災推進行事への参加及び地域防災リーダーを育成・指導することにより、自主防災の意識付け、地域防災力の向上を図ります。 現在、市内全域の校区・地区(195校区・地区)に設置されており、維持・継続します。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	地域防災力の向上	地域防災力の向上	地域防災力の向上	地域防災力の向上	当事業の成果の検証を、毎年度、数値で検証することは困難ですが、訓練や地域とのつながりを通じ、災害予防や有事の際に即応できる状態を目指します。	
	自治会全てに結成されている市民防災会を維持・継続し、地域防災力の向上を図ります。 (最終目標と目標年度)地域防災力の向上	地域防災力の向上		%		
(最終目標と目標年度)			%			

活動計画	どうやって目的を達成するか	防災訓練、防災講演会などの市民防災推進行事への参加 すべての市民防災会(195校区・地区)が、防災訓練、防災講演会などの市民防災推進行事に1回以上参加することにより、自主防災の意識づけ、地域防災力の向上を図っていきます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	大変順調
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	各市民防災会の市民防災推進行事への年間参加回数	194 校区・回	195 校区・回	195 校区・回	すべての市民防災会(195校区・地区)が、防災訓練、防災講演会などの市民防災推進行事に1回以上参加
	全ての市民防災会(195校区・地区)が年間1回以上の参加を目標としています。	194 校区・回		100.0 %	
			%		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	全ての市民防災会が、防災訓練、防災公演会などの市民防災行事に1回以上参加することにより、自主防災の意識付け、地域防災力の向上を図れたものと考え、順調と判断します。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	毎年、必要経費の見直しを図っており、経済的・効率的に事業を推進しています。

# P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

<b>事業概要</b>				担当局	消防局		
				担当課	予防課		
<b>事業名</b> 住宅防火対策の推進				課長名	尾花 博幸		
				施策番号		II - 1 - (4) - ③	
<b>事業概要</b> 地域防災ネットワークにより、福祉関係者・地域住民等からのあらゆる情報を活用し、高齢者・障がい者等の訪問活動を行い、防火・防災啓発の普及を図るとともに、火災及び焼死事故等の防止に努めます。				<b>事業手法</b> <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
コスト	事業費	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.80 人
		1,382 千円	1,053 千円			24,700 千円	係長 0.80 人 職員 1.00 人

【Action】改善			
<b>課題</b>	H23年度の評価結果を受けての課題 住宅用火災警報器は全国水準を上回る普及率であることから、今後も継続して設置促進の活動を進めていきます。住宅防火訪問を実施する消防隊の他の業務との兼ね合いを考え、目標件数を達成することが課題と考えます。	<b>見直し内容</b>	住宅防火訪問を実施する消防隊に対し、火災予防広報の必要性を再確認させます。他の業務の支障とならないような効率のよい実施を考察します。市民等へ住宅防火訪問の必要性を広報し、地域協力を得ます。平成25年度の事業費は、印刷物の委託料を見直して縮小しています。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
<b>目的</b>	対象(誰を、何を) 高齢者・障がい者等	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 住宅火災での高齢者・障がい者等の死亡率が高いことから、消防隊が高齢者宅等を訪問する防火指導や住宅用火災警報器の設置促進を図り、火災及び焼死事故等の低減と出火危険の排除を目指す。		<b>成果の状況</b>	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック  大変順調
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	<b>25年度目標</b>	<b>25年度実績(達成率)</b>	<b>成果の状況評価理由</b>
	住宅用火災警報器の普及率	80.9 %	全国水準を上回る普及率	87.5 %	住宅用火災警報器設置促進について、あらゆる機会を捉えた広報活動の結果が、全国水準を上回る普及率となっているため。  全国水準 平成23年6月:71.1% 平成24年6月:75.5% 平成25年6月:79.8%
	普及率の目標設定については、秋(11月)、春(3月)の火災予防運動期間中に市民を対象にアンケート調査を実施し、11月から3月の増加率で月平均を割り出し算出しています。	89.0 %		%	
	(最終目標と目標年度) 全国水準を上回る水準			%	
(最終目標と目標年度)			%		

<b>活動計画</b>	どうやって目的を達成するか 消防隊が高齢者・障がい者等の住宅を訪問し、防火指導を行うと共に、火災及び焼死事故等の防止を図ります。住宅用火災警報器設置の必要性について、各種媒体やイベント等あらゆる機会を通して広報を行い、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置を図ります。	<b>活動の状況</b>	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック  大変順調		
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	<b>25年度目標</b>	<b>25年度実績(達成率)</b>	<b>活動の状況評価理由</b>
	住宅防火訪問件数	2,837 件	3,000 件	3,975 件	実施する消防隊の他の業務との兼ね合いを考え、目標件数を達成できているため。
	住宅防火訪問件数の目標設定については、一消防隊あたり概ね30件で、108隊の消防隊が訪問した件数で算出します。	3,532 件		132.5 %	
				%	
			%		

【Check】評価(分析)	
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点  <b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点
	住宅用火災警報器の普及啓発について、訓練演習等での広報、テレビ・ラジオ等のマスメディアを通じた広報活動等、様々な広報活動を実施した結果、全国水準79.8%(平成25年6月)を上回る設置率となり、施策実現の効果があつたものと考えます。  あらゆる機会を捉えた広報活動及び広報物の種類・発行部数等を見直しを行うことで事業費の削減と、経済性及び効率性の向上が図られました。

# P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

担当局	消防局
担当課	警防課
課長名	松本

## 事業概要

事業名	消防団施設整備				施策番号	
					Ⅱ - 1 - (4) - ③	
事業概要	消防団活動の拠点となる消防団施設については、災害防衛拠点及び地域防災コミュニティセンターとして、十分な機能を有していなければなりません。 旧耐震基準の庁舎及び老朽、狭隘化が著しい庁舎を整備し、消防団の機能強化を図るものです。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)		目安の金額
	76,963 千円	61,955 千円		5,470 千円	(人件費備考)	

## 【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題	平成23年度は移転先を確保するために、各関係間との調整に時間を費やしました。着工から竣工まで、関係局及び建築業者との連絡を密にし、事業を円滑に進めるよう取り組む必要があります。	見直し内容	平成25年度は本部2施設、支部1施設の新築、3施設の実施設計等の完了を目指して事業に取り組みます。各関係機関との調整をスムーズに行い、事業が滞らないように事務を進めます。
----	-------------------	--	-------	---

## 【Plan】計画

## 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	順調
	消防団施設	平成25年度に3施設の新築、3施設の実施設計等を行います。平成26年度には、実施設計を行った3施設を新築し、災害発生時の活動拠点となる消防団施設の充実強化を図ります。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由	
	消防団施設整備による地域防災力の向上	-	地域防災力の向上	-	消防団施設整備事業及び耐震診断を実施し、耐震化に向けて順調に事業を推進していることから「順調」としています。 老朽施設の新築を行うとともに、耐震診断結果を踏まえ、補強計画・補強工事を行い、災害発生時の活動拠点となる消防団施設の充実強化を図ることとしています。	
	地域防災の要である消防団施設の整備により防災力が強化された状態を目指します。	-		%		
	(最終目標と目標年度) 地域防災力の向上					
(最終目標と目標年度)			%			

活動計画	どうやって目的を達成するか	各関係機関との調整をスムーズに行い、事業が滞らないように事務を進めます。災害発生時は、消防団員の活動拠点となるため、該当する消防団とも調整し、事業を推進します。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	順調
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由	
	消防団施設整備	1 施設	3 施設	2 施設	2施設の新築及び3施設の設計は目標どおり達成することができたが、1施設については、入札不調により、平成26年度への繰越事業となったため。しかし、平成25年度末には着工しており、平成26年6月末には竣工する予定です。	
	平成25年度に掲げた目標を達成するため、各関係機関との連絡調整を円滑に行い、年度内での完了を目指します。	1 施設		66.7 %		
				%		
			%			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	2施設の新築及び3施設の設計は目標どおり達成することができましたが、1施設については、入札不調により、平成26年度への繰越事業となりました。しかし、平成25年度末には着工しており、平成26年6月末には竣工する予定です。 活動の状況については、3施設のうち2施設は目標どおり竣工、残り1施設についても既に着工しており、竣工の目途もたっていることから「順調」としました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	狭隘、老朽または耐震基準を満たしていない消防団施設の管轄にある未利用地を、優先的に活用するなど、最低限のコストで実施しています。また、各委託契約にしても、適正な契約事務を行っており、コスト削減の余地はありません。

PDCAチェックシート(平成25年度実績評価)

担当局	消防局
担当課	人事課
課長名	岸本 孝司

事業概要

事業名	消防署所の適正配置				施策番号	
					II - 1 - (4) - ③	
事業概要	人口動態及び都市構造の変化、災害の大規模化など、消防を取り巻く環境の変化に対応した消防力(消防署所の開設や消防隊の配置)を整備します。また、市民サービスの公平性の観点から、消防署所の適正配置や効率・効果的な部隊運用を推進します。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)		目安の金額
	774,915 千円	768,716 千円		10,075 千円	(人件費備考)	

【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題 消防署所の適正配置に必要な建設用地や予算の確保等が課題となっています。	見直し内容	北九州市の「安全・安心なまちづくり」を目指すため、引き続き、早期に事業着手が可能なものから順次整備等を進めます。
----	--	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	-
	北九州市	消防を取り巻く環境の変化に対応した消防力を整備し、効率・効果的な部隊運用等を推進することで、「安全・安心なまちづくり」を目指します。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由	
	八幡東区の消防機能の強化	-	実施設計	実施設計終了	建設途上であるため、単年度の評価はありません。	
	八幡東消防署の完成、稼働により、八幡東区の消防機能を強化します。 (最終目標と目標年度)28年度開署	-		%		
	門司区の消防機能の強化	-	候補地選定予算要求	候補地選定予算要求		
門司消防署の完成、稼働により、門司区の消防機能を強化します。 (最終目標と目標年度)31年度開署	-		%			

活動計画	どうやって目的を達成するか	H25 【八幡東消防署】実施設計 【門司消防署】候補地の選定、予算要求 【八幡西消防署】候補地の選定、予算要求	H26 建築工事 基本設計・地質調査 解体設計(旧生涯学習C)	H27 建築工事、竣工 解体・実施設計 解体(旧生涯学習C)	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	大変順調
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由		
	八幡東消防署整備に係る事業進捗	候補地の選定、予算要求	実施設計	実施設計終了	新小倉北消防署を開署したこと、また、代表的な活動指標について、順調に目標を達成しているため、大変順調としました。		
	八幡東消防署の整備完了に向け、事業の進捗状況を指標とします。	基本設計、地質調査		%			
	門司消防署整備に係る事業進捗	候補地の検討	候補地の選定、予算要求	候補地の選定、予算要求			
門司消防署の整備完了に向け、事業の進捗状況を指標とします。	候補地の検討		%				

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	本市の都心部を管轄する新小倉北消防署を開署し、小倉北区を中心に本市全体の消防機能が強化されたため、大変順調としました。また、他の消防署においても予定どおり事業着手しており、進捗状況は大変順調であると考えます。本事業は、地域の防災拠点として、市民の安全・安心を守るために必要な事業であり、庁舎の耐震性の観点からも、早期に事業着手が可能と判断したことから順次進めていく必要があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	必要最小限の人数で対応しており、また事業に係る経費についても適正な契約事務を行っているため、これ以上の削減の余地はありません。外部機関に必要な調査・検証等を委託することで、効率的な事業推進を図っています。

P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

事業概要					担当局	消防局	
					担当課	予防課	
					課長名	尾花 博幸	
事業名	緊急通報システム					施策番号	
						II - 2 - (1) - ③	
事業概要	高齢者や重度身体障害者がいる世帯の火災やガス漏れ、救急要請などの緊急通報を消防指令センターで直接受信し対応することにより、火災・救急による被害の低減を図るとともに、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援します。					事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
		60,839 千円	53,389 千円			9,050 千円	係長
						職員	0.50 人
<small>(人件費備考) 担当課のみ。ただし、担当課以外に保健福祉局、各区役所、各消防署などの部署が関わっています。</small>							

【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題	本当に対応が必要な緊急の通報を早期に受信できる体制を維持するための効果的な広報等を消防局、保健福祉局及び各区役所等が連携して行い、質の高い行政サービスを維持していくことが課題です。	見直し内容	今後も保健福祉局高齢者支援課、消防局、各消防署、各区役所で連携して、質の高い行政サービスを維持できるよう担当者会議等を実施し、課題等の共有を行っていきます。
----	-------------------	--	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)			成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	大変順調
	高齢者等	住み慣れた地域で安全で安心して生活できる状態。					
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由		
	高齢者等の安全・安心な生活の実現				当事業の成果の検証を、毎年度、数値で検証することは困難ですが、緊急通報システム設置世帯への質の高い行政サービスを行うことで高齢者等の安全で安心な生活が実現されていると考えることから大変順調としました。		
	緊急通報システムの設置世帯数は、今後さらに増加していくと予想されます。設置世帯数の増加に対して、質の高い行政サービスを実現することで実施を図ります。	—	高齢者等の安全・安心な生活の実現	—			
	(最終目標と目標年度) 高齢者等の安全・安心な生活の実現	—		%			
(最終目標と目標年度)			%				

活動計画	どうやって目的を達成するか	保健福祉局高齢者支援課及び各区役所保健福祉課と連携し、緊急通報システムの制度概要や使い方をわかりやすく説明したリーフレット等を作成・活用し、設置世帯や市民へ周知します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	大変順調
	活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		上段:23年度実績 下段:24年度実績	
活動指標	緊急通報システムの行政サービス維持・向上を図るためのリーフレット作成	リーフレット作成・配布・説明	リーフレット作成・配布・説明	リーフレット作成・配布・説明	当事業の活動の検証を、毎年度、数値で検証することは困難ですが、緊急通報システムの行政サービス維持・向上を図るためのリーフレットを作成・配布等行い、設置世帯や市民へ周知できていることから大変順調としました。
	保健福祉局高齢者支援課、消防局、各消防署、各区役所保健福祉課で、積極的にリーフレットの配布や説明等を実施し、行政サービスの維持・向上を図ります。	リーフレット作成・配布・説明		%	
				%	
				%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】	緊急通報システムについて、保健福祉局高齢者支援課、消防局、各消防署、各区役所でリーフレットの配布や説明等の周知活動を幅広く実施しています。このように近年の緊急通報システム設置世帯の増加に対して、行政サービスの維持・向上は図られており、成果の状況、活動の状況いずれも「大変順調」としました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	現在のシステムを運用開始して10年が経過したH16年度から、継続的に保守委託費などのランニングコスト削減に取り組んできました。結果、市民へのサービス水準を維持しつつ、年度事業費の最高額から半額以下とすることができています。よって、費用対効果の面からみても適当だと考えます。

# P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

担当局	消防局
担当課	警防課
課長名	松本

## 事業概要

事業名	いきいき安心訪問			施策番号		
				II - 2 - (1) - ③		
事業概要	女性消防団員が2人1組となって、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火防災に関する指導や、家庭内救急事故の予防指導等を実施します。 なお、ほとんどの女性消防団員が「介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)」の資格を有しています。 また、訪問の際に緊急通報システムの設置等も紹介し、有事の際に迅速に対応できるようにしています。			事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
					( )	
コスト	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長	0.01 人
	8,806 千円	7,590 千円		990 千円	係長	0.05 人
				職員	0.05 人	(人件費備考)

## 【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題	平成23年度も目標とする訪問世帯数を達成できている。しかし、目標数は女性消防団員の条例定数を基に設定していることと、消防団員は他に本職を持っているため、目標数を達成できないこともあります。そのため、女性消防団員を確保することで、目標数を達成しやすい状態をつくっていくことが課題です。	見直し内容	現在の体制を維持し、目標数を達成できるようにします。
----	-------------------	---	-------	----------------------------

## 【Plan】計画

## 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	大変順調
	高齢者	女性消防団員が2人1組となって、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火防災に関する指導や、家庭内救急事故の予防指導等を実施することで、火災や重大な事故の発生を未然に防ぐことを目的としています。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	火災や重大事故発生の未然防止	—	火災や重大事故発生の未然防止	—	成果を数値で示すことは困難ですが、訪問先の多くの高齢者に感謝されていると考えています。 また、訪問を実施した結果、注意が必要な世帯については、常備消防に情報提供し、消防隊が訪問する体制となっており、火災や重大事故発生の未然防止が図られていることから、大変順調としています。	
	一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火防災に関する指導や、家庭内救急事故の予防指導等を実施することで、火災や重大事故発生の未然防止に努めます。	—		%		
	(最終目標と目標年度) 火災や重大事故発生の未然防止			%		
(最終目標と目標年度)			%			

活動計画	どうやって目的を達成するか	女性消防団員により、年間2,464世帯の訪問を行います	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	大変順調
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	女性消防団員による防火訪問	実施	実施	実施	目標世帯数を若干下回る結果となったが、目標数は条例定数をもとに算出していることから、実質的には、実員数(150名)で訪問可能な最大数(2,400世帯)は達成できている。
	介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)の資格を持った女性消防団員が福祉要素を取り入れた防火訪問を行います。	実施		%	
	年間訪問世帯数	2,562 世帯	2,464 世帯	2,440 世帯	
現在定められている女性消防団員の定数(154名)で訪問可能な最大数(2,464世帯)を目標として実施しています。	2,552 世帯		99.0 %		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	女性消防団員が一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火防災に関する指導や家庭内救急事故の予防指導等を実施することで、対象者の安全・安心につながっています。 平成25年度は、実員(150名)で訪問可能な世帯数(2,400世帯)を達成することができ、これは、ほぼ数値目標どおりの活動実績となっているため、大変順調としました。
	【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	女性消防団員のほとんどが「介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)」及び「応急手当普及員」の資格を持っています。同等以上の資格を有する者のサービスをより安価に受けるのは困難です。

# P D C A チェックシート (平成 25 年度実績評価)

担当局	消防局
担当課	人事課
課長名	岸本 孝司

## 事業概要

事業名	消防音楽隊による文化活動				施策番号	
					Ⅲ - 2 - (2) - ②	
事業概要	市主催の式典や消防の各種行事に出演し、市民参加向上の役割を担うとともに、音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、市のPR活動や防火・防災啓発活動を実施します。併せて、幼少年の健全な育成等に寄与することを目的に、教育機関と連携し、積極的に幼少年教育に貢献します。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	25年度当初予算額	25年度執行額	(事業費備考)		人件費
	9,407 千円	8,598 千円			4,800 千円	

## 【Action】改善

課題	H23年度の評価結果を受けての課題	見直し内容
	平成24年度についても、目標としている年間150回程度の出演回数となる予定であり、順調に事業を推進できています。訓練日数の確保と出演とのバランスを取りながら、より効果的な出演を実施していく必要があります。	平成25年度は、音楽隊常用演奏服の更新延伸や消耗品等を削減することにより、事業費は縮小しますが、そのような中でもより高い成果が得られるよう、公演内容を工夫していきます。

## 【Plan】計画

## 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	大変順調
	市民	市主催の式典や消防の各種行事に出演し、音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、市のPR活動や防火・防災普及啓発活動を実施します。併せて、幼少年の健全な育成等に寄与することを目的に、教育機関と連携し、積極的に幼少年教育(消防“夢”コンサートの開催)に貢献します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	防火・防災普及啓発	—	—	—	出演回数は年間150回程度が適当であり、本年度はほぼ目標通りの回数となっています。また、数値で検証することは困難ですが、公演での消防広報を通じて、防火・防災の普及啓発が図られていると考えます。上記の理由から、成果の状況を「大変順調」としました。
	音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、防火・防災の普及啓発を推進します。	—	—	— %	
	(最終目標と目標年度)防火・防災普及啓発	—	—	— %	
消防音楽隊出演回数	147 回	150 回	147 回		
	訓練日数の確保等から年間150回程度の出演が適当であると考えます。公演内容を工夫することにより依頼数の確保に努めます。	165 回		98.0 %	
	(最終目標と目標年度)毎年度150回程度				

活動計画	どうやって目的を達成するか	音楽隊やカラーガード隊が各地で公演を行う際、その時期や社会情勢等を考慮した「効果のある消防広報」を行っていきます。また、教育機関の協力を得て実施する、消防“夢”コンサートについては、子ども達に「防火・防災意識の高揚」、「音楽の素晴らしさや、多くの仲間と音楽を創造するチームワークの重要性」を伝えるため、今後も演出を工夫するなどの努力を行っていきます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	順調
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:23年度実績 下段:24年度実績	25年度目標	25年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	警察音楽隊との合同演奏	2 回	2 回	2 回	警察音楽隊との合同演奏は、目標回数に達し、市民に「安全・安心」について、PRすることができたこと、またホームページについては、アクセス件数の減少が見られたものの、目標数値の約八割に達したことから、活動の状況を「順調」としました。
	安全・安心を担う二つの組織が連携し、音楽を通じて「安全・安心」を市民にPRします。両音楽隊ともに出演多忙であること、他の行事とのバランス等を考慮し、年2回の合同開催を目標としています。	2 回		100.0 %	
	ホームページアクセス件数	27,263 件	37,000 件	29,009 件	
市民に活動内容等を知ってもらうことで、知名度が上がり、出演依頼の増加に繋がると考えられます。積極的に更新し、見てもらえるホームページ作成を心がけます。	36,448 件		78.4 %		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	【成果の状況】「教育機関に対する音楽隊からの積極的なアプローチ」や「公演中止要請があった場合のフォロー」を行ったことにより、ほぼ目標は達成できたため、成果の状況を「大変順調」と判断しました。 【活動の状況】警察音楽隊と協力し、市民に「安全・安心」をPRすることができたこと、また目標達成とはいかなかったものの、ホームページアクセス件数が目標の約八割に達したことから、活動の状況を「順調」と判断しました。アクセス件数減少の要因については、平成24年度に東日本大震災が発生し、市民の防火・防災意識が高まり、アクセス件数が増加しました。平成25年度目標は、この件数を基準に設定したため、目標件数に達しなかったのだと考えます。今回のアクセス件数から分析し、目標は30,000件程度が妥当だと判断します。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	出演は無償で行っており、消耗品等の購入は必要最小限に抑えているため、これ以上の予算削減余地はありません。